

2026年度 法人事業方針

社会福祉法人路の会 法人本部

<2025年度総括>

路の会職員の施設間交流の機会はコロナ禍以降激減していましたが、2025年度は、施設間交流の機会を増やしました。6月に後援会総会を兼ねた第1回路の会交流会を開催、全体で108名の方々が参加され、広く職員、利用者、ご家族、役員の皆様と交流することができ、車いすダンスを通し皆さんで楽しい時間を共有することができました。初めての法人全体の交流会は、その準備を含め、各施設職員の協力によって成功したと思います。

さらに、8月には、コロナ禍以降5年ぶりの路の会全体の職員交流会も実施でき、33名の職員が参加、他施設職員と和やかに語らい、とても良い交流が出来ました。12月には、路の会全体の第1回支援研修会を開催、グループワークでは活発な意見交換が行われ、職員のモチベーションアップとチームワーク向上に繋がりました。1月には、若手職員交流会、2月には今年度第2回目の路の会交流会を開催しました。

今年度実施した上記の交流会4回、研修会等により、目指している路の会職員のチームワーク向上、各施設職員間の相互理解に寄与したと思います。

職員の労働条件の改善については、4月に平均2.0%の賃上げを実施、また、東京都居住支援特別手当補助金の申請を行い20時間以上勤務支援員等の職員に支給しました。

組織運営については、前年度から毎週1回本部会議を継続して実施、その時々の方の課題や各施設の問題を検討し、事業検討会でその改善に取り組んできました。3施設1事業所の赤字解消については、各事業所が取り組み、単年度で見ると、昨年度より赤字額が少なくなっていますが、実質赤字脱却には至っていません。そのため、ぽぷら八王子では、2月に委託元の株式会社エフピコ様に対し3年ぶりに製造の単価値上げ要請をお願いしご理解を頂きました。

残念なお知らせですが、8月に2施設の利用者2名の方がご病気のためお亡くなりになり、ご家族様に後援会よりお見舞金をお渡し致しました。心よりお二人のご冥福をお祈り申し上げます。

<2026年度事業方針>

I 重点課題

1. 全施設・事業所

施設長・所長は、施設・事業所業務の優先課題に注力し、長時間残業を減らし、電気代等の節減、利用者増の対策・改善を進め赤字解消に努めます。そのための中長期計画の見直しを進めます。

2. 各事業所

1) ふきのとう

短時間から替わったフルタイム職員が2名増となって職員配置は安定しました。利用者はまだ定員に満たないため引き続き利用者増に努め、昨年度は毎月利用率65%を達成したので今年度は70%以上を目指します。

2) ひのき工房

今年度は、木工では売上アップと安定した売上に繋がる新商品の開発、お菓子のさらなる売上増に努めます。

3) ころぼっくる

安定した事業運営ができるよう若手職員の育成を進めると共に、今年度も放課後等デイサービスの利用率95%以上を継続します。

4) とぶきふねん

人件費増による令和4年度の赤字、令和5年度の市の委託費削減の影響により4年連続の赤字が続く厳しい運営状況でしたが、昨年度の赤字額は一昨年度より大幅に縮小し、今年度から改善の見込みもあり、赤字解消を目指します。さらに、メンバー・職員の高齢化対策、作業品質の改善を進め、市への月報内容も充実させていきます。

5) ぽぷら八王子

引き続き新人職員の型替え技術習得・育成に力を入れ、日中の自動機稼働率を改善することにより、毎月の生産目標、良品効率99%を達成します。また、職員会議、支援会議、職員研修、ディスカッション等を通して虐待防止をスタッフに徹底し、利用者支援の充実に関心をもち、力を入れていきます。さらに、日々の品質や生産の課題を組織的に解決するため新たに主任会議を実施します。

6) オリーブ

開設3年目、引き続き利用者増に取組み、契約者16名、1日平均利用者11名以上(利用率55%以上)を達成し、今年度末の赤字解消と施設運営体制の確立を目指します。(昨年度：利用率47%)
又、就労事業を充実させ、B型平均工賃45,000円以上を継続します。

II 法人本部・施設長会の取り組み

1. 労働条件の改善

- ① 昨年度は、6施設の内4施設が実質赤字でしたが、赤字幅が少し減少したこともあり、国の助成金を含め少なくとも平均2%（時給平均25円、月平均4,000円程度）の賃上げを目指します。
- ② 一昨年度から実施されている東京都居住支援特別手当補助が、今年度も延長実施される予定ですので、申請時期には手続きをして給与支給日に毎月支給します。（金額は、昨年同様 月10,000～20,000円）

2. 法人・施設運営

- ① 一昨年から始めた週1回の本部会議（常任理事3名・事務局1名）を継続し、各施設・法人全体の課題を点検し、事業検討会でその改善に取り組みます。
- ② 今年度も法人研修の他に施設・事業所間職員交流会を行い、同じ法人内の職員同士の親睦を図り、研修・交流会等を通して施設間の理解を深め、法人の理念を共有する6事業所が連携し助け合う、より強い協力体制を作ります。
- ③ 昨年度に引き続き各施設のホームページ作成・運用のできる人材育成を進めます。

3. 職員研修

- ① 4年目となる新人・中途採用職員研修は、今年度も実施し、落の会のあゆみと理念、職員としての心構えと資質の教育を通して、“優れた福祉人材”に成長してもらえよう努めます。また、今年度も引き続き、フォローアップ研修を実施します。
- ② 入職1～2年の職員については、OJT研修を通して専門知識の習得とチームで共に学び成長する大切さを学んでもらいます。
- ③ 昨年度に引き続き、第2回法人支援研修を実施します。
- ④ 施設長研修
施設長として施設運営能力を身に付けてもらうため施設長研修を継続し、今年度は、さらに理解を深めるため、いままで提出した各施設長・所長の研修レポートの振り返りを行い、意見交換会を実施します。
- ⑤ 外国人労働者のための語学研修
昨年度に引き続き評議員の前田様にお願いし、ぽぷら八王子の外国人職員の職場定着支援のため日本語教室を継続します。また、今年3月入職した特定技能研修生の語学及び介護福祉士試験のための勉強を評議員の天野様にお願いし、法人としても研修生が3年後に介護福祉士試験に合格できるよう協力します。